

育てよう
耐える心と
思いやり

船橋市青少年だより

令和6年3月20日 - 編集発行 - 船橋市青少年問題協議会 事務局 船橋市教育委員会 青少年課 〒273-8501 船橋市湊町2-10-25 047-436-2903

船橋市スポーツ健康都市宣言40周年記念事業を 実施しました

漕スポーツ課

今年(昭和58(1983)年10月に、人もまちも健康でありたいという願いを込めた「スポーツ健康都市宣言」を行って40周年を迎える記念の年です。宣言を行なって以降、さまざまなスポーツが地域で根付き、また本市をホームタウンとする「千葉ジェッツふなばし」や「クボタスピアーズ船橋・東京ベイ」はたくさん市民から愛されるチームに成長し活躍するなど、子どもから大人までスポーツに触れ合えるまちとして成長してきました。



この記念すべき年を市民と一体となって盛り上げ、年齢や障害の有無に関わらず、誰もがスポーツに親しみ、スポーツを通じた市民相互のコミュ

ニケーションの機会を創出するため、「船橋市スポーツ健康都市宣言40周年記念事業実行委員会」を設立しました。

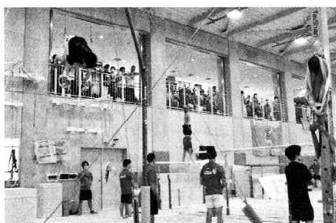
船橋市スポーツ健康都市40周年記念事業の第1弾として、令和5年7月9日(日)に「船橋市スポーツ健康都市宣言40周年記念 スポーツ講演会」を開催しました。

この記念講演は、スポーツ健康都市宣言を行った年に体育科が開設された市立船橋高等学校の第3体育館を会場として開催しました。

講師にはアメリカ体操協会ナショナルチームスベシャルアドバイザーの富田 洋一氏をお招きし、「夢情熱感謝 American Dream」をテーマに、単身アメリカに渡り、体操選手からコーチへの転身を果たした経験に焦点を当て、新たな文化や環境において自己を超え、挑戦し成長する過程を講演いただきました。

大勢の参加者の前で富田氏は「人生は失敗から学ぶことが多い。情熱を持ち一生懸命に夢に向かって進んでもらいたい」と語りました。

さらに、スペシャルゲストとして東京2020



オリンピック男子体操技個人総合で金メダルに輝いた橋本 大輝選手、令和5年10月9日(月)母校に凱旋し、富田氏(祝)に船橋市運動公園にトークセッションを行いました。できない技ができたときの喜びや試合の緊張の解き方などを話し、「さまざまな人からの応援に支えられている。パリオリンピックだけでなく、ロサンゼルスオリンピックでもメダルを獲得し、前人未到の3連覇を目指している」と語りました。

また、講演会にあわ

て、富田氏が率いるア

リカジュニアナショナル

チームと市立船橋高等

校体操部の合同練習の

一般公開を行いました。

参加者は、世界で活

する指導者とアスリー

の言葉とダイナミック

な体操競技を間近に触

れ、スポーツの魅力が大

いに感じることができ

ました。

また、講演会にあわ

て、富田氏が率いるア

リカジュニアナショナル

チームと市立船橋高等

校体操部の合同練習の

一般公開を行いました。

参加者は、世界で活

する指導者とアスリー

の言葉とダイナミック

な体操競技を間近に触

れ、スポーツの魅力が大

いに感じることができ

ました。

また、開会式に船橋市スポーツ健康都市づくり推進事業公認キャラクターの「汗一平」と「風さやか」も登場し、参加者と共にスポーツ健康都市宣言40周年を盛り上げました。

●参加者の声
・バレーボールなど全部楽しかった。
・普段触れることのないスポーツや体験が色々楽しめるので、すごくいい企画だと思う。
・楽しかった。技をやった、もも襲われたときに為になる。(少林寺拳法体験者)
・子供たちと一緒にスポーツを楽しめたらいいなと思って参加した。
・体を動かすことで交流



も持て、心身の活性化に繋がり、良いことだと思った。
「スポーツフェスタの概要」
・延べ体験者数
5,143人
・各ブース体験者数
4,670人(延べ)スタン
プラリー参加者数 47
3人(参加用紙回収数)
・出展団体
剣道連盟、卓球協会、
一輪車協会、インディア
カ協会、少林寺拳法連盟、
バレーボール協会、フェ
ンシング協会、アーチェ
リー協会、弓道協会、船
橋市スポーツ推進委員協
議会、船橋市スポーツと
健康を推進する会、船橋
障がい者スポーツ協会、
ふなスポ活き生きパーク

・雨天のため中止となつた団体
野球協会、テニス協会、
ソフトテニス協会、馬術
協会、フライングデイス
ク協会、船橋市スポーツ
推進委員協議会(第8回
元気ふなばし健康ウォー
キング)、千葉ジェッツ
ふなばし、クボタスピア
ーズ船橋・東京ベイ、千
葉ロッテマリーンズ、船
橋市青少年相談員連絡協
議会、ふなばし市民大学
校

青少年非行の概況及び非行防止と保護対策について

船橋警察署

船橋東警察署管内における少年の非行防止・保護総合対策について

船橋東警察署

【少年非行の現況】

令和5年中に当署で検挙した少年は、35人であり、前年に比べ4人増加しました。

主な非行内容は、万引きや自転車盗であります。が、これらの非行は初発型非行と言いつ、犯行手段が容易で、動機が単純であるものの、本格的な非行へ発展していく危険性が高いものになります。

また、特殊詐欺グループに少年が加わり、「受け子」や「出し子」として犯罪に加担する事件や少年の薬物事件、SNS利用を端緒とした児童ポルノ事件などの増加もあげられ、少年を取り巻く昨今の社会情勢が反映されていると言えます。

30件減少しました。千葉県下においても年々減少傾向にありますが、当署においては、家出少年を扱うことが多く、SNS等を通じて知り合った大人に安易に会いに行き、被害や様々なトラブルに巻き込まれるケースは後を絶たない状況にあります。

そのため、当署では、家出少年や不健全異性交友を繰り返す少年の把握に努め、当該少年に対する継続的な少年補導活動を実施し、犯罪被害の未然防止に努めています。



【防犯講話】

児童虐待は、主として家庭の中で起きることが多いため潜在化しやすく、また反復・継続することで、児童に重大な被害が生じるおそれが高いことから、早期に児童虐待を発見し、児童を保護することが重要になります。

当署では、些細な兆候も見逃すことがないように関係機関との情報共有や連携した対応を徹底するとともに、危険性の高い虐待については積極的な事件化を図るなど、児童の安全確保を最優先とした適切な対応に努めています。

船橋東警察署管内における令和5年中の刑法犯認知件数は1392件であり、前年に比べ280件増加しました。少年の刑法犯検挙人数は27人であり、前年に比べ12人増加しており、地域における犯罪の増加に比例して検挙された少年も増加した結果となりました。

主な非行は、初発型非行と言われる万引きや自転車盗ですが、強盗事件や恐喝事件などの重要犯罪も認知しております。少年補導件数は343件で、前年と同水準の件数であり、うち227件が高校生でした。行為種別は深夜徘徊が全体の約6割を占め、飲酒や喫煙は減少傾向となりました。

これらの情勢を踏まえ、次に挙げる事項を重点取り組みとして、本年も少年の非行防止と保護対策に取り組んで参ります。



【見守り活動】

【少年補導の現況】

当署管内における令和5年中の少年補導件数は、452件で、前年に比べ

【児童虐待の現況】

【少年の非行防止と保護対策】

【防犯講話】

【少年を取り巻く有害環境の変化】

【児童の安全を最優先とした児童虐待対策】

【少年を取り巻く有害環境の変化】

【児童の安全を最優先とした児童虐待対策】



【見守り活動】

【少年の非行防止と保護対策】

【防犯講話】

【少年を取り巻く有害環境の変化】

【児童の安全を最優先とした児童虐待対策】

【少年を取り巻く有害環境の変化】

【児童の安全を最優先とした児童虐待対策】

【見守り活動】

「次代を担う生徒の育成」に向けた 取組について 船橋市立船橋高等学校

本校は、船橋市の次代を担う市民を養成する学校という創立の趣旨に沿って普通、商業、体育の3学科を設置し、地域社会の要望に応えるよう努力するとともに、将来の船橋市や千葉県、日本を担う人材を育成する中核市の市立高校として、地域とともに、さらに発展していくよう努めています。

【第一の矢】
進路希望に応じた多様な選択科目を設置することによって、主体的に意欲を持って学習することを可能としています。

【第二の矢】
進学、国際コースの設置

【第三の矢】
学区拡大

【第四の矢】
市内中学生優先入学制度



普通科の入学者選抜に市内中学生優先入試制度を設けることにより、市内外から集まった生徒が互いに高め合う場を提供しています。

加えて、令和5年度から6年度にかけて、本校の学習環境は大きく整備されることとなります。例えば、主要教室への電子黒板の設置、生徒1人1台PCの導入、全体育施設への空調完備等です。このことにより生徒に一層充実した学習活動を提供できることになり、ますます本校の担う役割と責任は大きくなると考えています。

今年度、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に格下げになったことを受けて、本校のさまざまな教育活動も本来の活発さを取り戻すことができました。

普通科国際教養コースを中心に短期留学や語学研修をコロナ禍以前の形に戻して行い、アメリカ及びオーストラリアの姉妹校との国際交流を活発に行いました。

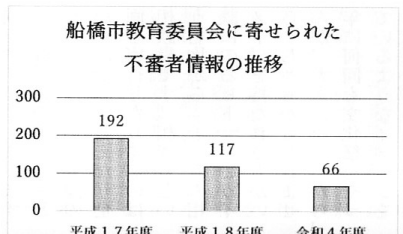
また、商業科では、地元企業や大学等との連携

事業(商品開発・ECショップ・販売実習・出張授業・インターシップ等)を精力的に展開するとともに、資格取得への徹底した指導により日商簿記1級合格者を輩出するなど大きな成果を挙げました。

体育科は、野外実習(キャンプ・スキー)を安全かつ着実に行うとともに、本校の大きな特色のひとつである運動部活動の中心として関東・全国大会等で活躍しました。今後も総勢1200名の生徒たちが、船橋市の皆さまの温かい支援を受けて学習活動に取り組んでまいります。どうぞ市船の教育活動にご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

子供の安全

教育委員会では、市内の子供の防犯対策として、不審者情報の発信や防犯ブザーの配付、教育用冊子「ふなっこのぼうしん」を活用した防犯教育、防犯カメラの各学校への



安心のためにスクールガード事業にご協力を

児童・生徒防犯安全対策室

設置などを実施しています。特に、子供の見守りボランティア「スクールガード事業」では、地域の皆様にご協力いただきながら進めることができていると見守る、下校の時間に

は、全国的に子供が巻き込まれる事件が発生したことをきっかけとして、平成18年度から開始しました。保護者の方々や地域の方々「スクールガード」となることで、子供を見守る地域の「目」が増え、不審者被害の抑止につながります。

活動内容は、登下校の時間帯を中心に、学



このような活動によって、事業開始前の平成17年度には不審者被害件数が192件であったところ、事業開始後に不審者被害件数が年々減少し、近年では約60件程度で推移しました。

スクールガードの登録者については、年々減少傾向にあり、教育委員会として担い手を増やしていくことが喫緊の課題です。活動は定期的でなく、できるときにできる範囲で構いません。スクールガード事業にご協力をいただける方は、下記の連絡先にお問い合わせください。

児童・生徒防犯安全対策室
047-436-2876

また、SNSを利用してオンライン投稿企画や、職業に関する講座などを実施しています。講座では、ゲーム翻訳者や声優・俳優の講師をお招きし、10代を中心に多くの方に参加していただいています。

同様のYAコーナは中央・東・北図書館にもあります。学習や読書を楽しむ場として、また、青少年の皆さんの居場所の一つとして、図書館のYAコーナを活用していただければと思います。

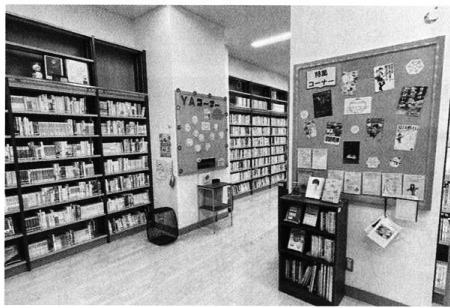
10代のためのYAコーナー

船橋市西図書館

YA(ヤングアダルト)とは、子どもから大人への過渡期にいる人たちのことで、主に10代の若者を指します。西図書館3階にあるYAコーナーでは、10代の利用者が今必要としていること、興味を持っているもの、大人になるために必要なものなどを、図書館資料・情報誌等を通じて情報発信しています。

コーナー内には、思春期の悩み、部活動、進路や職業についての本、様々なジャンルの入門書などがあり、月ごとにテーマを決めて展示をしています。また、「元気になる本は？」、「忘れられない台詞は？」といったテーマに投稿用紙で応える「コミュニケーションボード」があります。

また、SNSを利用してオンライン投稿企画や、職業に関する講座などを実施しています。講座では、ゲーム翻訳者や声優・俳優の講師をお招きし、10代を中心に多くの方に参加していただいています。



つとして、図書館のYAコーナを活用していただければと思います。

楽しい相談員活動

船橋市青少年相談員連絡協議会

私たち青少年相談員(以下、相談員)は、町会・自治会会長の推薦を受け、千葉県及び船橋市から委嘱されて活動するボランティアで、現在240名の相談員が市内で活動しています。相談員の活動は、各ブロックでの活動と全ブロック合同で企画・運営を行う市の事業の大きく2つあります。

普段は、5つのブロックに分かれてブロック毎に企画・運営を行っており、地域の子も達が遊べる場を提供しています。企画の場は私たち青少年相談員が子ども達と交流する場にもなり、元気をもらっています。ブロック毎の活動には、公民館

が主催するハッピーサタデーや子どもまつり、町会・自治会行事に参加することも含んでいます。このような公民館行事や町会・自治会行事に参加することは、地域の青少年の健全育成を図る各団体とのつながりを作る上で大切な場になっていきます。



全ブロック合同で企画・運営を行う市の事業で代表的なものは、青少年キャンプと青少年のつどい大会です。青少年キャンプは2023年度に58回目を迎え4年ぶりに県外(山梨県立八ヶ岳少年自然の家)で開催しました。新型コロナウイルスが5類に移行したことに伴い、マスクなしで会話ができたりバスの中でレクリエーションができたり、テント内での集団宿泊も再開できました。また、八ヶ岳エリアの夏場の平均最高気温が30℃を超えることがないため暑さ対策にも最適な場所でした。コロナ禍のキャンプ事業についても紹介させていただきます。55回(2020年)と56回(2021年)はコロナ禍で中止に



せざるを得ませんでした。57回(2022年)はバス内やキャンプ場での感染対策を具体化(バスは一人1座席、一人用テント準備、流しうめなど)し、バスでの移動距離を短くするために千葉県内で開催しました。このように、事業を継続するために相談員力を合わせて工夫しています。つどい大会はスポーツ大会として企画すること

が主となっており43回目を開催しました。今回は大人気のスポーツ雪合戦ではなく、ドッチボール(ドッチボールのルールで投げるのは円盤型のスポンジ)を行いました。市内の小学1年生から6年生と相談員の混合チームでリーグ戦を戦い抜きました。順位を競うよりもチームみんなで力を合わせて競技を楽しみました。子ども達は相談員(大人)を外野に出した時も楽しんでいたかもしれません。ドッチボールは子ども大人の垣根なくできるスポーツなので、子ども達のリーグ戦が終わった後に、保護者VS子ども達の試合も開催でき、参加者全員で楽しむことができました。少しは相談員活動の楽しさをお伝えしたいと考えています。相談員を紹介してききました。相談員の仲間を随時募集しています。相談員活動の主役は子ども達ですが、子ども達のために企画を考えたり企画を実行したりするのは相談員です。相談員という名称から「子どもの相談にのるヒト」というイメージを持たれる方がいらっしゃるかもしれませんが、大人になってから、年にも何回も文化祭をやっているようなイメージをもつて頂けたら幸いです。私は相談員3期目(9年目)ですが、普段の生活だけでは出会えないような感動や喜びを相談員活動の中から感じる事ができています。素敵な仲間にも出会えています。

子ども達の笑顔のために、ご自分の笑顔のために、相談員と一緒に活動してみませんか。



【研修会の様子】

PTA連合会では、単位PTAの負担を軽減するため、広報委員会、情報活性化委員会等を廃止し、理事会や研修会等にはオンラインで参加できるように工夫をしています。

「今、子どもたちに何が必要か」、また「子どもたちが笑顔になるために何ができるか」を考え、活動を見直しブラッシュアップできたのではないのでしょうか。PTA連合会では、単位PTAの負担を軽減するため、広報委員会、情報活性化委員会等を廃止し、理事会や研修会等にはオンラインで参加できるように工夫をしています。



【バレーボール大会】

船橋の子どもの笑顔のために

船橋市PTA連合会

相談員は昭和38年から活動を開始しており2024年度に60周年を迎えます。子ども達を取り巻く環境は60年前と現在では大きく変化しています。直近ではコロナ禍を経験

しました。相談員には、子ども達の笑顔を増やせるような環境を提供できる力があると考えています。子ども達がたくさん笑顔になれるような環境を提供するために、地域

の皆様にご指導ご支援をいただきながら、相談員活動を継続してけるよう相談員一同一致団結して取り組んでいきますので、企画に是非ご参加ください。

となりました。また、コロナ禍をきっかけに不登校の児童生徒が急激に増えたことから、昨年からは不登校に関する研修会を開催し、保護者だけでなく、学校関係者や地域ボランティアの方にもご参加いただきました。不登校の現状を学ぶとともにそれぞれ抱える悩みに触れることができました。